

ケミ・バデノック 2050年までのネット・ゼロは空想政治。 何の根拠もない。 地球を約束する。 そしてその代償も大きい。 "

保守党党首ケミ・バデノッチ議員の政策更新プログラム演説 2050年のネットゼロ目標廃止を発表

私たちは、先人たちが残してくれた遺産で生活しています。

この国の歴史において、3世紀にわたって、どの時代も子供たちのためにより良い遺産を残してきました。

英国の偉大さは、私たちの祖先の犠牲によって築かれてきました。

彼らは建設し、革新し、そして厳しい決断を下しました。彼らは決して

繁栄が保証されているなどとは決して考えず、繁栄を確かなものにするために努力したのです。

しかし、そのことが、英国は常に裕福であるという思い込みを生み出しました。

私たちは裕福な国ですが、自己満足によって弱体化しつつあります。

私たちは回復力を失いつつあります。かつてのように物事を成し遂げることができず、迅速に建設することもできなくなっています。

私たちは負債に、福祉に、防衛に、あまりにも多くの支出をしています。

本来あるべき姿で成長できていません。

それが私たちです。

少し上にカナダがあります。

米国の成長率です。

そして一番上にオーストラリアがあります。

私たちは次世代のために遺産を残せていません。さらに悪いことに、世界が変化していることを認識しないことで、私たちは子供たちの未来を担保にしています。

私たちはあらゆる面で子供たちの状況をますます厳しくしています。

実質可処分所得、一人当たりの GDP、住宅所有率などを見れば、

状況が停滞しているか、後退していることが分かるでしょう。1974年には、頭金を貯めて

家を購入するのに6か月もかかりませんでした。

現在では、平均して11年以上かかっています。

保守主義とは、次世代のために、社会の最良の部分を実際に維持することです

自分たちだけではありません。

ロジャー・スクルートンが言ったように、「保守主義とは、存在するものを愛することです。完璧だからではなく、

自分たちのものだから、そして自分たちの前にいた人々の生活から育まれたものだからです。

」

わが党には、冷戦、

1980年代の経済改革、2008年の金融危機後の混乱など、です。

私たちは、この国の回復を導くことがしばしば義務となってきました。

しかし、昨年7月、私たちは党史上最大の敗北を喫しました。私たちは、

成功をもたらした理念に基づく政府を、労働党の管理主義に置き換えました。

労働党は、私たちの権力を役所や裁判所に与えました。

私たちは常に裕福であると思ひ込み、未来よりも現状維持に重点を置いていました。

そして今、労働党が復活しました。

そして、彼らはすでにすべてを悪化させています。雇用は失われ、税金は上昇し、

成長は縮小しています。彼らは教育を荒廃させ、規制の真の改革の必要性についてまったく無知です。

しかし、私たちが過ちを犯したために労働党が復活したことを認めなければなりません。

そして、国民は保守党が政府から離れる必要があることを明確に示しました。

今、私たちのすべきことは、マーガレット・サッチャーや

デイヴィッド・キャメロンが過去に行ったように、その時間を賢明に使うことです。

そして、1970年代や2000年代と同様に、私たちの党は安易な答えや性急な発表で政権復帰への近道を歩むことはできません。

私たちは、

保守的な価値観を共有した上での信頼に足る計画を練らなければなりません。個人の責任、市民権、健全な

通貨、家族、自由など、その他にも多くのことが挙げられます。

私たちが明日のことを考えていることを示す計画。野心的な計画であり、

現実的でありながらも、希望に満ちた考えではなく、問題を詳細に検討するものです。

今日、私は、私たちが子供たちの遺産を台無しにしている最大の原因のひとつについてお話しします。

まずは、エネルギーとネットゼロに関する真実を明らかにすることから始めましょう。

私たちが日常生活で行うあらゆる行動は、安価で豊富なエネルギーに依存しています。

エネルギーが安価で豊富になると、生活水準が上昇し、健康状態や

平均寿命も伸び始めました。

安価で豊富なエネルギーは、今日私たちが知る文明の基盤です。

私たちはそれを危険にさらしています。

そして、まさに私たちは過去 20 年間、それを続けてきたのです。そして今、一般の人々や企業に深刻な影響が出始めています。

電気料金は高すぎます。近隣諸国や比較対象となる国々と比べてもはるかに高く、

環境税が課される可能性もあり、さらに高くなることも考えられます。

私たちが支払っている電気料金の大部分は、エネルギーコストそのものではありません。

人々は企業への支払いに苦勞しており、特に製造業は

倒産しており、コスト削減の現実的な計画也没有ありません。

そんなことが続くはずがありません。

それは空想政治です。何もないのに約束し、地球を約束し、そして地球に負担を強いています。

社会として、私たちは、いや、私たちはこれまで、同時に 2 つのことをしようとしてきました。

エネルギーコストを抑えつつ、環境への影響を減らすことです。

これらはどちらも崇高な目標です。

マーガレット・サッチャーのような保守党は、常に自然環境の保護者でした。

私たちの世界に生命を吹き込む森林を大切に、私たちの土地を潤す河川を守り、

私たちの魂を鼓舞する景観を維持する。

自然の微妙なバランスを将来の世代のために守ることは私たちの義務です。しかし、英国が現在実施している政策は、実際にはこれを達成しておらず、一方で

同時にエネルギーコストを押し上げているのです。

私たちは二兎を追うがごとく、コストは高騰し、進歩は遅々としています。

なぜでしょうか？

それは、これまで詳細な計画が一度もなかったからです。

エド・ミリバンドの 2008 年気候変動法。

計画なし。

炭素予算。

経済計画なし。

そして 2019 年、議会は 2050 年までにネットゼロにすることを法制化しました。しかし、計画はありません。

数兆ポンド、30 年間のプロジェクトであり、私たちの生活のあらゆる側面に影響を及ぼすものです。

たった 90 分間で、1 票も投じられることなく決定されました。

その日発言した 22 人の国会議員のなかで、注意を促した議員はわずか 2 人でした。

私もそのうちの 1 人でした。

私はその日、計画を求めました。そしてその後も何度も計画を求めました。そして待ち続けました。待ち続けました。待ち続けました。

840 日後、計画が提出されました。

しかし、それは十分ではありませんでした。

あまりにも不十分であったため、環境保護団体が政府を訴え、勝訴しました。

詳細が不十分だったからです。

私たちは、ガスから再生可能エネルギーへの移行に必要なスコットランドの油田を閉鎖しています。

計画に意味がないからです。

少し考えてみましょう。私たちはすでに、あの日計画した 2050 年までにネットゼロの 6 分の 1 の地点まで来ています。

そして、私たちはまだそこに到達するための計画があるかどうかについて議論しているのです。

そして、計画の欠如を覆い隠してきた政治家たちは、将来これらの目標が達成できず、私たちの子供たちが苦しむことになっても、とっくにいなくなっているでしょう

将来、目標が達成できず、子供たちが苦しむことになっても、

どうか惑わされないでください。そして、他党の暴論にも惑わされないでください。

ニック・クレグが、新しい原子力発電所の建設案を却下したのは、

2022年まで稼働しないからでした。その決定により、私たちは何十億ポンドもの損失を被りました。自由民主党のエネルギー大臣は誰だったのでしょうか？

エド・デイヴィーです。現在、自由民主党を率いています。

改革党のような、わが国の課題に対する現実的な解決策を持たない新党が現れるでしょう。

だからこそ、彼らがエネルギー政策を発表した後、その政策は瓦解したのです。

私たちは真剣な取り組みが必要です。

単純な問題であるかのように装うのはやめなければなりません。そして、政策計画のないプレスリリースによる発表による政治もやめなければなりません。

約束をしてそれを守らないことが、まさに政治に対する信頼を失わせている理由なのです。

信頼を回復できる唯一の方法は、ありのままの真実を語ることに他なりません。

2050年までにネットゼロは不可能です。

私は喜んでそう言っているわけではありません。私は、子供たちのために、より良い未来とより良い環境を望んでいます。

しかし、現実を見据えなければなりません。

真剣な分析を行ったことのある人なら、生活水準の大幅な低下なしには達成できない、あるいは

破産を招くことになると知っています。

責任ある指導者は、家庭をより貧しくするような空想にふけることはしません。

また、子供たちの将来を担保にすることもありません。

世界が同じことをしなければ、私たちは自国をより安全ではなく、より

安全ではなく、より回復力のないものにしてしまいます。

ネットゼロの核心にある 3 つの真実をお話ししましょう。

第一に、公表された計画は完全に混乱しています。

英国が先進国の中で炭素排出量削減で最も大きな進歩を遂げたのは事実です。

しかし、世界の排出量の 1%しか占めていない英国が、たとえ排出量をゼロにできたとしても、他の国々が追随しなければ、世界全体でネットゼロにはなりません。

そして、他の国々は追随していません。ましてや、英国が

破産寸前まで追い込まれてまで達成しようとしていると知れば、追随するはずもありません。

排出削減の成功には、大きな代償も伴いました。

先進国で最も高い電気料金です。

驚くべきことに、私たちの電気料金のコストの多くは、エネルギーの卸売価格から直接生じているわけではありません。

膨大な費用が、電気の配電方法を変更するために費やされています。

なぜなら、私たちは事実上、2 つの発電システムを構築しなければならないからです。

1 つは再生可能エネルギーに基づくもの、もう 1 つはそうでないものです。太陽が照り

太陽が輝き、風が吹くとき。そして、そうでないとき。

これらの課題に対処する代わりに、労働党は修辭的な駆け引きに走り、

使命や目標について語り、GB エナジーに関するプレスリリースを実際の解決策と取り違えています。

政府内で誰も適切な全体計画について語ろうとしない本当の理由は、

それが家庭や企業、そして経済にとってどれほど悲惨な現実的なコストになるかを明らかにしてしまうことを知っているからです。

そのコストには、完璧に機能している自動車、ボイラー、

調理器を、より高価で信頼性の低い同等の製品に買い換えざるを得なくなる家庭が含まれる。

そのコストは、企業がエネルギーに対して現在よりもはるかに高いコストを支払うことを意味し、

産業基盤と製造業がさらに弱体化する。

また、北海の自国の天然資源を開発できなくなることで、

負債がさらに増大する。

これは第一の真実です。第二に、たとえ計画があったとしても、私たちは遅れをとっていません。

簡単な例をひとつ見てみましょう。

気候変動委員会は、2040 年までに英国の住宅の半数以上が

ボイラーを撤去し、ヒートポンプに交換する必要があると述べています。

このスケジュールで迅速に実行できる方法はありません。

1,700 万軒の住宅に高価なヒートポンプを設置する必要があるのに、わずか 15 年でそれを達成しなければならないのです。

現在、ヒートポンプを設置している住宅はどのくらいあるでしょうか？ 30万軒にも満たないでしょう。なぜなら、ヒートポンプは

大量の高価な電気を消費し、多くの人々がそれを好まないからです。

しかし、良い統計を見てみましょう。昨年は、英国でヒートポンプが

英国で設置されたヒートポンプの数は過去最高の 5万台でした。これは過去最高の数字です。このペースでいくと、

目標達成には 15年ではなく 340年かかります。

そして、5万台のほとんどは政府の補助金、あるいは私が

好んで呼ぶところの税金によって設置されたものです。

現在ではその数はかなり減っており、政府支出がさらに

防衛費の増額によって制約を受ける前です。

これはグリーンテクノロジーに対する批判ではありません。

私は、エネルギーをより安く、より安全にするという理由で、再生可能エネルギーへの移行を支持しています。

しかし、再生可能エネルギーは完璧な解決策ではなく、独自の課題があります。

3つ目の真実についてお話ししましょう。私たちは、私たちの価値観を共有しない国々に、自らを大きくさらけ出しているのです。

ソーラーパネルを例に取ってみましょう。良いニュースは、この 10年間でコストが下がっていることです。

しかし、悪いニュースもあります。

10年前、私たちは主要な部品のすべてを中国に大きく依存していました。

そして現在、私たちはさらに依存度を高めています。

ソーラーパネルのトップメーカー12社を見てください。そのほとんどが中国企業です。

これは、コロナ禍で私たちが学んだサプライチェーンへの過剰な依存を考えると、異常な依存度です。

風力発電所についてはどうでしょうか？

現在、その大半がどこで生産されていると思いますか？ もちろん中国です。

つまり、それらはすべて中国のエネルギーを使って生産されているということです。供給量の60%は

石炭火力発電所から来ており、需要に応えるために、隔週で新しい発電所を建設しています。

電気自動車を見てください。すべてがバッテリーに依存して動いています。

電気自動車を構成する部品の生産は、ある国が独占しています。

この3つの事実が、私が「ネットゼロ懐疑論者」を名乗る理由です。曖昧な計画、非現実的な

目標と期限、中国への過剰な依存。私たちは、明白な事実を認めなければなりません。

ネットゼロは、私たちの価値観を共有しない国々に危険なほど依存することになり、

エネルギー安全保障を危険にさらすことにもなります。

すべてうまくいくと見せかけるのはもうやめましょう。

そして、私は気候変動が存在するかどうかについて議論するつもりはありません。気候変動は存在します。

私は自分の子供たち、そして皆さんの子供たちのために、より良い環境を残したいと強く願っています。

しかし、2050年までにネットゼロに近づくことはできそうにありません。

また、独裁政権も、そのつもりがない限り、2050年までにネットゼロに近づくことはできないでしょう。

政治が空想に変わると、このようなことが起こります。

おそらく、いくらかは変わるでしょう。

しかし、期待はできません。

エド・ミリバンドは、大きな約束をすることに時間を費やしています。

彼は、どうやって実現するのかわからないまま、家庭の光熱費を300ポンド削減すると人々に伝えています。

ところで、労働党が政権を握って以来、光熱費は300ポンド近くも値上がりしている。私はよく「人々を助きたいのであれば、真実を伝えるべきだ。

自分自身を助きたいのであれば、相手が聞きたいことを伝えるべきだ」と言う。

真実を伝えなければならない。

2050年までにネットゼロにするという計画は不可能だ。

もっと良い方法があるはずだ。

だからこそ、政策刷新の一環として、労働党が

野党時代14年間で成し遂げられなかったことを行うつもりです。

現実に対処するつもりです。

現実の問題に立ち向かい、現実の質問に答え、計画を準備します。

数多くの分野をカバーしますが、まずはエネルギーとネットゼロから着手します。

そのために、クレア・クティノ野党国務長官率いるチームは、

英国の将来のエネルギー政策とネットゼロ政策のあらゆる側面を検討します。

ネットゼロ議論の核心にある混乱した思考を解明しようと努力してきた時間は、クレアほど長い人はほとんどいません。

彼女はスコットランド野党国務長官のアンドリュー・ボウイ氏と

ロード・オフォード氏から支援を受けます。

私は彼女のチームに、真実を知り、

実現可能な解決策を提示できる人々を見つけ、彼らと協力するよう指示しています。

経験に基づいて答えられる人々です。企業を破綻させることなく、

家庭に法外な請求がいくこともなく、敵対的または不安定な国への依存もなく、

安価でクリーンなエネルギーを供給するにはどうすればいいのか。

労働党はこれらの問題に関心がないかもしれませんが。しかし、私たちは関心があります。

保守党员として、私たちは環境を守りたい、

エネルギーを確保し、子供たちにより良い世界を残したいと考えています。

この崇高な目標を、この議題を乗っ取った狂信者たちから守らなければなりません。

クリーンエネルギーとより良い環境を実現する最善の方法は、市場を活用することです。

国家による強制ではなく、既得権益者や利権者による偽りの統計でもありません。

この虚構をできるだけ長く維持したい既得権益者やレントシーカーの偽りの統計ではなく、

ネットゼロとエネルギーに関する真実を語ることは、次世代のために遺産を残すことを実際に保証する取り組みの始まりに過ぎません。

私は党大会のスピーチで、政府の仕組みを再配線し、再プログラムし、

再起動して、再び国民に奉仕できるようにすると述べました。

今日、保守党は英国史上最大の政策刷新プログラムの第一歩を踏み出します

50年ぶりの政策刷新プログラムの第一歩を踏み出します。

明日、私のシャドウキャビネット（野党内閣）も、同様に多くの問題に取り組み始めます。

人々を再び労働に戻す。統合ではなく分断が進む社会に対処する。

医療制度を立て直す。

労働党が教育で今晚のように混乱を引き起こすのを修復する。

生産性を向上させる。

移民を管理し、民主的な決定を妨げる法律戦術に対処する

民主的な決定を妨げる法律戦術に対処する。

そして、まだまだ他にもたくさんあります。

今後数週間のうちに、学者、専門家、実業家、

あらゆる分野のメンバーが、わが国の問題の根本原因を突き止めるために協力してくれる

ことでしょう。

わが党の政策は党员によって形作られます。そして、彼らがその中心となるでしょう。

この国をより良い国に変えたいという思いから保守党に参加しています。私たちの政策

刷新は、今後 10 年間にそれを実現するための基盤となるでしょう。

そして、保守党员ではないが、話を聞いて気に入ったという方は、ぜひ私たちに参加してください。

私たちは、皆さんの支援、協力、専門知識を必要としています。私たちに参加し、

子供たちにより良い遺産を残すために力を貸してください。

保守党は新たな指導者のもと、これまでとは違ったやり方で事を進めていくつもりです。

私たちは、この国をより良く変えるという真剣な覚悟を持っています。

そのための第一歩は、私たちが選挙に勝つためだけに存在しているのではないということ
を認識することです。私たちは、何のために勝つのか、そして勝った後に何をするのかを理
解しなければなりません。

真の問題を診断する

実行可能な解決策を見つける

適切な計画を立てる。

そして、再建の準備を整え、再びこの国を強くすること。私たちは、

過去にそうしてきたように。

一般の人々のために戦う。

家族制度のために。

ビジネス界のために。

良識のために。

減税、小さな政府、干渉の減少のために。

そして最後に、私たちの世代が真の遺産を残せるようにすること。

つまり、再び子供たちのために、より良い世界を残すこと。